令和６年度　　放課後等デイサービス　自己評価表　　【つどいの郷】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | チェック項目 | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点等 |
| **環境・体制整備** | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ５ | ０ | 生活介護と話し合いスペースの区切りを調整している。 |
| 2 | 職員の配置数は適切であるか | ５ | ０ |  |
| 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ５ | ０ | 危険のないよう介助や声掛け行い、必要に応じて簡易スロープを使用している。 |
| **業務改善** | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ４ | １ | PDCAサイクルに職員全員で参画していく。 |
| 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ５ | ０ |  |
| 6 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか | ５ | ０ | 毎日のミーティングが良い機会となっている。 |
| 7 | この自己評価の結果を、事業所の広報やホームページ等で公開しているか | ５ | ０ |  |
| 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ４ | １ | 今年度第三者評価を受けた。業務改善に繋げていく。 |
| 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ５ | ０ | ネットを活用し色々な研修や講習を日常的に受けられると良い。 |
| **適切な支援の提供** | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ５ | ０ | 職員全員で話し合い、計画を立案している。 |
| 11 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか | ３ | ２ | 職員全員で話し合い、計画を立案していく。 |
| 12 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか | ４ | １ | 職員全員で話し合い、支援していく。 |
| 13 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ５ | ０ |  |
| 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ５ | ０ | 職員全員で立案している。 |
| 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ５ | ０ | 特に長期休みは事前に話し合い決めている。 |
| 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ５ | ０ |  |
| 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ５ | ０ | ミーティングで支援内容や活動を確認している。 |
| 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか | ５ | ０ | ミーティングで振り返りを行い連絡ノートを使い情報共有している。 |
| 19 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ４ | １ | 支援の検証、改善に努めていく。 |
| 20 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ４ | １ | 職員全員で話し合い判断していく。 |
| 21 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ５ | ０ | 総則の基本活動を組み合わせて支援を行っている。 |
| 22 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか | ５ | ０ | 活動前や活動中に自己選択の場面を設けている。 |
| **関係機関や保護者との連携** | 23 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ５ | ０ |  |
| 24 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ５ | ０ | 学校と情報共有し、連絡調整を行っている。 |
| 25 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ５ | ０ | 現在、対象者はいないが、必要に応じて行っていく。 |
| 26 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ５ | ０ | 本年度はいなかったが、利用者がいる場合は行う。 |
| 27 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ５ | ０ | 要望があれば提供できる。同一施設内では日常的に情報共有している。 |
| 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ５ | ０ | ご家庭の様子を聞けると、さらに共通理解が深まる。 |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか | ０ | ５ | ペアレントトレーニング等の支援が行えるよう、研修に参加していきたい。 |
| **保護者への説明責任等** | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ５ | ０ |  |
| 31 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援の内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか | 5 | ０ |  |
| 32 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ４ | １ | 悩み等は傾聴してチームで情報共有している。 |
| 33 | 保護者同士の連携を支援しているか | ３ | ２ | 保護者参加の行事を計画したり、作業奉仕の案内を出している。  夏休みに親子活動を実施した。 |
| 34 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ５ | ０ | 苦情はなかった。苦情解決窓口があり、対応マニュアルが整備されている。 |
| 35 | 定期的に広報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ５ | ０ | 毎月の活動写真の掲示と定期的な通信を発行し、情報を発信している。 |
| 36 | 個人情報に十分注意しているか | ５ | ０ |  |
| 37 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ５ | ０ | 口頭、文章、メール、身振りなど、それぞれに合った方法を考え行っている。  不確実な伝言は避け、直接保護者に伝えるなど行っている。 |
| 38 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ３ | ２ | 避難訓練の参加と協力をお願いしている。 |
| **日常時等の対応** | 39 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ５ | ０ |  |
| 40 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ５ | ０ |  |
| 41 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか | ５ | ０ | 安全計画に基づき、毎月安全点検や訓練を実施している。 |
| 42 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ５ | ０ | 繰り返し全員が研修に参加している。 |
| 43 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ５ | ０ | 身体拘束が必要なケースはない。 |
| 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ５ | ０ | 保護者と情報共有し必要に応じて医師の指示を仰ぐ。 |